

教訓 地域に広めたい

東日本大震災 社会資本再生・復興シンポジウム
～東日本大震災から美しいふるさと宮城の復興に向けて～



東日本大震災からの復興に向けた「社会資本再生・復興シンポジウム」

震災の経験を踏まえた防災対策の在り方を探ったパネル討論

(県主催)が9日、県庁であり、約410人が有識者や行政関係者の討論、発表に耳を傾けた。パネル討論は「震災からの教訓を津波防災対策に生かすために」がテーマ。阿部賢一東松島市消防団長は「個人や家庭の防災意識を高め、地域に広げたい。防災訓練のレベルアップにもつながる」と指摘した。

防災

が必要だ」と述べた。

西村和広国

土技術政策総合研究所長、今村文彦東北大災害制御研究センター教授が基調講演した。あいさつした村井嘉浩知事は「被災者の生活再建に向け復興の取り組みを加速させなければならない」と述べた。

安住宣孝前女川町長は、震災直後に県外自治